

令和8年度（2026年度）新規研究課題

課題番号：R08-03

課題名：ドローン防除の導入によるクリの生産向上

研究期間：令和8年～令和10年（2026年～2028年）

研究担当：農林業技術部 農業技術研究室

1 研究の背景

本県のクリ産地は、生産者の高齢化や担い手不足により栽培面積・生産量の減少に歯止めがかかっていない。また、生産者の高齢化に加えて急傾斜地に立地する園地も多いことから防除作業の負担が大きく、十分な防除が行われておらず、主要害虫であるモモノゴマダラメイガの被害により低収量となつて需要に応えられていない。

今後も高齢化の進行が見込まれることから、省力的防除方法の導入による生産の安定・向上が求められている。

2 目的

クリ生産においてドローンを活用した防除技術を導入してモモノゴマダラメイガの被害を抑制することにより、その生産量及び収益性の向上を図る。

3 研究内容

- (1) ドローン防除に適した条件の解明
- (2) 効果的・効率的な防除法の探索
- (3) ドローン防除の経営的評価

4 研究のポイント

- ・ドローンの活用は、防除作業の省力化に大きな効果が期待されているものの、本県のクリ生産ではほとんど活用されていない。本研究においてドローン防除に効果的な条件・方法を明らかにすることで、その導入を円滑にして防除の省力化推進が図れる。
- ・主要害虫であるモモノゴマダラメイガに対するドローンによる省力的防除を確立することにより、単収及び収益性を向上させることが可能となり、クリ産地の維持に寄与する。

ドローン防除の導入によるクリの生産向上

研究期間：R8-R10（2026-2029）

研究担当：農林業技術部農業技術研究室

研究の背景・課題

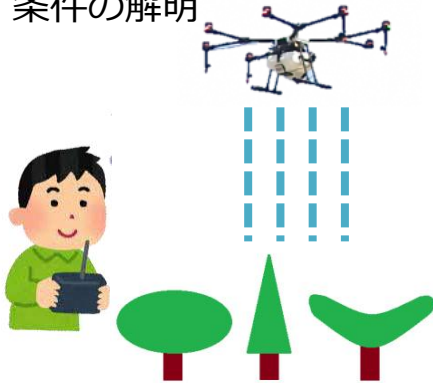
- ・本県のクリ産地においては、生産者の高齢化や担い手の減少により産地規模が縮小
- ・生産者の高齢化や急傾斜の園地条件により防除が不十分でモモノゴマダラメイガの被害により低収量



需要に応えられていない状況

研究内容

ドローン防除に適した条件の解明



樹形・樹高・着穂位置

ドローンによる効率的・効果的な防除の検討



防除方法



経営評価

期待される効果

- ・モモノゴマダラメイガに対するドローンを活用した省力的防除の円滑な導入
- ・クリの単収を向上させることによる生産量の維持